

# 令和6年度構造設計一級建築士講習

考査会場	受 講 番 号	氏 名
	—	

## 修了考査（法適合確認）

### 答 案 用 紙

次の注意事項をよく読んでから始めて下さい。

**[注意事項]**

- この答案用紙の枚数は、表紙を含めて6枚あります。
- 解答は、それぞれの設問ごとに所定の方法で記入して下さい。
- 問題は、選択理由記述式4肢択一問題(以下、4肢択一式という)が10問、記述式が3問あります。  
科目合格の判定においては、4肢択一式10問の評価の合計が一定以上であること、記述式3問について問題ごとの評価が一定以上であること、かつ、4肢択一式及び記述式の評価の合計が一定以上であることが求められます。
- 下書き、計算等はメモ欄や余白部等を使用して下さい。
- この答案用紙は、持ち帰りを禁止します。

採点欄

--	--

(受講者は記入しないこと)

## 法適合確認（選択理由記述式 4 肢択一問題）

[No.1]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由							
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>						

[No.2]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由							
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>						

[No.3]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由							
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>						

[No.4]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由							
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>						

[No.5]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由							
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4		<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>						

採点欄

--	--

(受講者は記入しないこと)

[No.6]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	


[No.7]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	


[No.8]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	


[No.9]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	


[No.10]

(この欄は記入しない)

いずれかを○で囲む	不相当とする理由
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	


# 法適合確認（記述式）

## 問題 1

(この欄は記入しない)

[No.1]

--	--

① 追加指定事項

C1 柱 :

X , Y , X と Y

方向の

(いずれかを○で囲む)

C2 柱 :

X , Y , X と Y

方向の

(いずれかを○で囲む)

② 追加検討事項

③ 考慮すべき応力

S15 :

sb40 :

採点欄

--	--

(受講者は記入しないこと)

[No.2] (この欄は記入しない)  

--	--

- ① 接合部形式係数  $C =$
  
- ② 単位接合部の降伏せん断耐力  $P_y =$   (kN)
  
- ③ 1列のドリフトピン本数に基づく耐力の低減係数  $K_n =$
  
- ④ 終局せん断耐力  $P_u =$   (kN)
  
- ⑤ 基準許容引張耐力  $P_0 =$   (kN)
  
- ⑥ 短期許容引張耐力  $P_a =$   (kN)

**問題 2**

(この欄は記入しない)

[No.1]

--	--

層せん断力 $Q$ 

1 階 :  $Q_1 =$   (kN)

2 階 :  $Q_2 =$   (kN)

(計算欄)

(この欄は記入しない)

[No.2]

--	--

梁の端部(X2 通り)の短期設計用曲げモーメント ${}_G M$ 

2 階 :  ${}_G M_2 =$   (kN・m)

R 階 :  ${}_G M_R =$   (kN・m)

梁の曲げ座屈の許容応力度(短期) ${}_G f_b$ 

2 階 :  ${}_G f_{b2} =$   (N/mm<sup>2</sup>)

R 階 :  ${}_G f_{bR} =$   (N/mm<sup>2</sup>)

(計算欄)

採点欄

--	--

(受講者は記入しないこと)

(この欄は記入しない)  
[No.3] 

--	--

① 露出型柱脚部の柱脚回転剛性  $K_{BS} =$ 

--

 (kN・m/rad)

(計算欄)

② 柱脚部で保有耐力接合の条件を 

満足する	,	満足しない
------	---	-------

 (いずれかを○で囲む)

(その根拠)

(この欄は記入しない)  
[No.4] 

--	--

本建築物に耐震計算ルート2を適用する場合、大地震時に構造耐力上支障のある急激な耐力低下を生じるおそれがないことを確かめるため、接合部も含む柱及び梁部材に求められる検討項目をそれぞれ2つ述べよ。

〈柱 ①〉 

--

〈柱 ②〉 

--

〈梁 ①〉 

--

〈梁 ②〉 

--

**問題 3**

(この欄は記入しない)

[No.1]

--	--

① 1階の保有水平耐力  $Q_u =$   (表2に示す a を用いて答えよ)

② 1階の構造特性係数  $D_s =$

(判定理由を簡潔に記述)

--

採点欄

--	--

(受講者は記入しないこと)

(この欄は記入しない)

[No.2]

- ① A柱：種別  A柱： $Q_C / Q_M =$
- B柱：種別  B柱： $Q_C / Q_M =$
- C柱：種別  C柱： $Q_C / Q_M =$
- (いずれかを○で囲む)

- ② 柱梁接合部がせん断破壊する場合には、柱の種別をどのように判定すればよいか、判定の対応を簡潔に記述せよ。

(判定の対応を簡潔に記述)

- ③ 1階柱の種別ごとの負担せん断力の合計を、表5に示す $Q_1$ を用いて答えよ。なお、0(ゼロ)の場合は、0と記入すること。

種別FAの柱の水平せん断力の和 =

種別FBの柱の水平せん断力の和 =

種別FCの柱の水平せん断力の和 =

種別FDの柱の水平せん断力の和 =

- ④ 1階の構造特性係数  $D_s =$

(判定理由を簡潔に記述)

— 以下の余白はメモ等に使用して下さい —



